

# 土佐くろしお鉄道 NEWS

## 『土佐くろしお鉄道中村・宿毛線』を守りましょう

『土佐くろしお鉄道中村・宿毛線』は、年々利用客が減少し経営が悪化しています。

幡多地域のマイレール『中村・宿毛線』の存続には、地域住民の方々のご理解・ご協力が不可欠です。

### 【中村・宿毛線とは?】

中村線(窪川駅～中村駅間)は昭和45年に国鉄路線として開業されましたが、不採算路線として国鉄時代に廃止路線対象となり、宿毛線(中村駅～宿毛駅間)は建設が中断されました。

そうした中、高知県西部では、宿毛線を建設するため、昭和61年に関係自治体を中心となって第3セクター「土佐くろしお鉄道」を設立しました。

昭和63年からは廃止路線対象となった中村線の運行を受け継ぎ、平成9年に宿毛線の運行を開始しました。

### 【中村・宿毛線を取り巻く現状】

中村線は、開業当時(昭和63年)は利用客が多く、開業後の2年間は黒字を計上していましたが、マイカーの普及や高速道路の延伸などにより年々利用客が減少しています。

現在の利用客数は、中村線が開業当時の半分以下、宿毛線が開業当時(平成9年)の6～7割程度となっています。開業3年目以降は毎年度赤字が続き、平成26年度は中村・宿毛線で約2億2千万円の赤字です。

### 【自治体からの支援】

高知県と関係市町村(四万十市、宿毛市、土佐清水市、四万十町、大月町、黒潮町、三原村)では、中村・宿毛線を存続させるため、開業以来4度にわたって鉄道経営助成基金を積み立てています。各自治体の財政が厳しい中での積立ですが、経営支援については経常収支の状況に応じて支出しています。

土佐くろしお鉄道に対する各自治体の助成基金負担金額

(単位:千人)

年 度	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
輸送人員(中村線)	1,014	1,001	1,023	1,047	1,000	1,000	963	914	886	897	858	889	844	834
輸送人員(宿毛線)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	233	404	443	460	430
輸送人員(中村・宿毛線)	1,014	1,001	1,023	1,047	1,000	1,000	963	914	886	1,130	1,262	1,332	1,306	1,265
経常損益(単位:千円)	1,886	4,258	▲167,699	▲134,861	▲179,226	▲43,560	▲59,190	▲9,701	▲29,481	▲36,411	▲157,868	▲104,423	▲113,564	▲81,435

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
輸送人員(中村線)	816	727	678	610	579	508	487	461	473	454	425	414	380
輸送人員(宿毛線)	419	369	338	310	289	274	274	256	278	767	257	266	260
輸送人員(中村・宿毛線)	1,236	1,096	1,016	921	868	782	761	718	752	721	682	679	640
経常損益(単位:千円)	▲63,658	▲106,522	▲154,163	▲122,163	▲34,225	▲106,066	▲116,676	▲90,236	▲118,270	▲175,512	▲170,740	▲172,026	▲218,574

### 【中村・宿毛線を存続するために】

今までよりも、少しでも多く「中村・宿毛線」をご利用ください。

全国各地で路線の廃止が実施され、地域経済・観光・通学・帰省など多岐に影響を与えています。

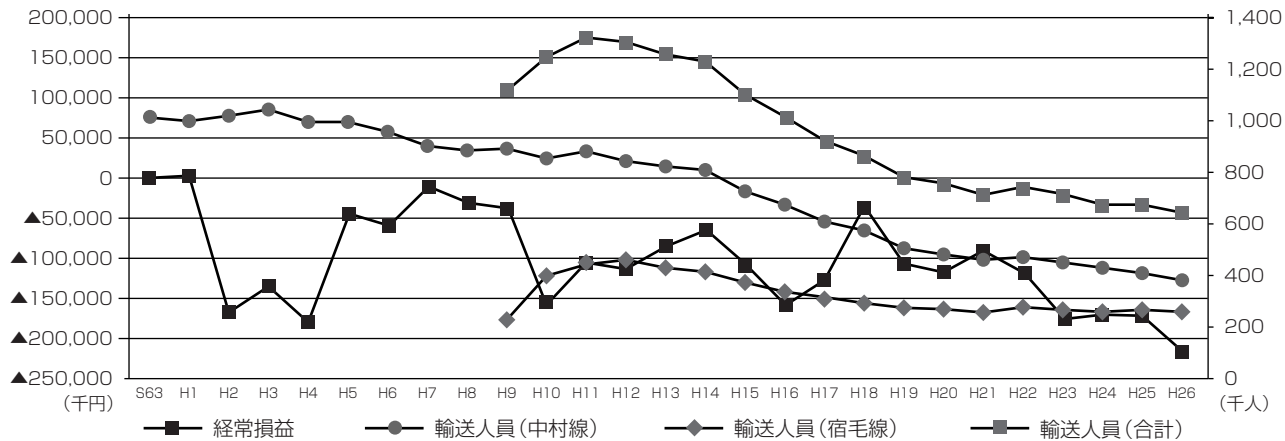
この中村・宿毛線も、このまま利用者減少が続いていけば、赤字はどんどん大きくなっていき、近い将来、「路線廃止」となるかもしれません。そして、一度路線廃止された地域に、再び鉄道を走らせることは困難を極めます。地域の努力でようやく開通したこの路線を守るためにも、もう少し多く列車をご利用ください。駐車場を整備している駅もありますので、駅まで家用車で行って、そこから鉄道を利用することもできます。旅行や近隣市町村でのイベントなど、列車に乗る機会を作って「中村・宿毛線」を存続させましょう。

住民の皆さんが「列車に1回多く乗る」ことで、赤字の解消につながります。みんなの力でマイレール「中村・宿毛線」を守り、存続させましょう。

○お問い合わせ

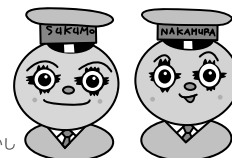
本庁 総務課 企画振興係

☎ 43-2177 (課直通)



土佐くろしお鉄道に対する各自治体の助成基金負担金額 (単位：百万円)

支援期間	平成17～21年	平成22～24年	平成25～29年
期間内合計	6億1200万円	4億円	1億円



©やなせたかし

※直近の造成積増し計画分のみ。

1人あたりの赤字額は約2,000円。「列車に1回多く乗る」ことで、マイレールを守りましょう。

- 幡多郡および四万十町人口合計 108,607人
- 平成26年度赤字額 2億2千万円  
 $2億2千万円 \div 108,607人 \approx 2,000円$   
 ※人口は平成27年12月1日時点

【参考】中村・宿毛線乗り放題切符

- 窪川駅～宿毛駅  
 普通列車1日乗り放題切符 2,050円  
 特急列車1日乗り放題切符 2,570円

幡多広域消費生活センター便り

詐欺の手法にご注意ください！

悪徳業者はあの手この手を使って大切な財産を狙ってきます。従来の手口から、今どきの話題を盛り込んだ手口まで、さまざまな内容があります。

警戒心を忘れずに、少しでも怪しいと思ったら、迷わずお近くの消費生活窓口にご相談してください。

◆オレオレ詐欺

息子や孫を装って「会社のお金を使い込んだ」「女性を妊娠させた」「サラ金に借金をしてしまった」「交通事故を起こしてしまった」などと言ってお金をだまし取る手口。「あなたの口座が悪用されている。新しいキャッシュカードを作るのでカードを預かります。暗証番号も替えるので番号を教えてください」と言われることもあります。

◆架空請求詐欺

「有料サイトを利用したのでお金を払え」「延滞料金が発生している」などと、架空の事実を口実として料金を請求される手口。

◆融資保証金詐欺

融資を誘っておきながら融資を

申し込んできた人から、保証金などを名目に現金をだまし取る手口。

◆還付金等詐欺

社会保険事務所の職員や自治体の職員などを名乗って年金や税金、医療費などの還付手続きがあるかのように装ってATMから犯人口座へ振り込ませる手口。

◆口ト6詐欺

「事前に当選番号を教える」と言われ、情報料などと称して現金をだまし取る手口。

◆義援金名目詐欺

震災などに便乗して義援金名目で現金などをだまし取る手口。

◆詐欺被害の2次被害

詐欺被害の救済を語って近づき、別の株の購入や手数料を求めてくる手口。

○お問い合わせ

幡多広域消費生活センター  
 ● 受付時間 月～金曜日  
 午前9時～正午  
 午後1時～午後5時

※祝日・年末年始を除く

☎ 34-6301

相談は無料、秘密厳守です。安心してご相談ください。

本庁産業推進室商工観光係

☎ 43-2113 (直通)